



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月7日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL <https://www.yokowo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,645	7.6	1,324	0.6	1,742	24.9	1,287	20.2
2018年3月期第2四半期	24,765	18.3	1,316	17.3	1,395	103.2	1,071	163.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,243百万円(△27.9%) 2018年3月期第2四半期 1,726百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	63.64	63.41
2018年3月期第2四半期	53.14	52.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	42,622	24,249	56.9
2018年3月期	37,030	23,284	62.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 24,239百万円 2018年3月期 23,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2019年3月期	—	12.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2018年11月7日)公表の「2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、剰余金の配当(中間配当)の決定並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	54,500	5.0	3,000	△4.3	3,200	9.9	2,350	0.5
								116.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期2Q	20,849,878株	2018年3月期	20,849,878株
2019年3月期2Q	613,921株	2018年3月期	621,385株
2019年3月期2Q	20,231,681株	2018年3月期2Q	20,161,595株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、車載通信機器及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で増収となり、266億4千5百万円（前年同期比+7.6%）となりました。営業損益につきましては、前年同期比で回路検査用コネクタセグメントが減益となったものの、車載通信機器セグメントの黒字化及び無線通信機器セグメントの大幅な増益により、13億2千4百万円の利益（前年同期比+0.6%）となりました。経常損益につきましては、円安による為替差益4億9百万円を計上したことなどにより、17億4千2百万円の利益（前年同期比+24.9%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常増益により、12億8千7百万円の利益（前年同期比+20.2%）と、前年同期比で増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、米国市場が減少に転じたものの、中国市場とアセアン市場の順調な伸長により、着実に拡大を続けております。国内におきましては、登録車が販売減となったものの、軽自動車が堅調に推移した結果、新車販売台数は前年をわずかに上回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ/GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、フィルムアンテナなど国内向けを主とする製品については、新車販売台数が伸び悩んだことにより前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は186億6千2百万円（前年同期比+8.3%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、中国における製造労務費は依然として高い水準にあり、米国向け輸出製品に係る関税の税率引き上げによる利益押し下げ要因があるものの、部品・製品の輸送費用が減少したことなどから、2億6千1百万円の利益（前年同期は7千6百万円の損失）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、スマートフォン向けの成長鈍化に加え、メモリー需要に一服感がみられたものの、車載向け、データセンター用サーバー向けの需要増加により、全体としては成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、市場成長の減速を背景とした主要顧客の生産調整などにより、前年同期を下回りました。また、高周波電子部品検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売は、当社製品の品質及び耐久性の大幅な向上による交換需要減などにより、前年同期を下回りました。一方、当セグメントに含めておりますLTCC事業につきましては、インターポーザ基板/LED基板などの販売が大幅に伸長し、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は43億4千2百万円（前年同期比△2.6%）と、前年同期比で若干の減収となりました。セグメント損益につきましては、比較的利益率の高い製品の売上比率低下、将来の事業規模拡大に向けた製造要員大幅増による固定費増加などにより、2億8千2百万円の利益（前年同期比△65.6%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォン/タブレット端末の伸びが鈍化している一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれております。POS端末市場は、物流/製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けております。また、ヘルスケア/産業機器などの他市場も成長が期待されております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、携帯端末メーカー向けの販売が受注減により落ち込んだものの、POS端末/ヘルスケア市場向け販売の堅調な推移により、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、国内顧客向けユニット製品販売の堅調な推移に加え、部品販売が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は36億4千万円（前年同期比+18.3%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、製品・事業ミックスの変化などにより、7億8千万円の利益（前年同期比+41.2%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位:百万円、%)

	前年度上期 自 2017年4月 至 2017年9月	前年度下期 自 2017年10月 至 2018年3月	当年度上期 自 2018年4月 至 2018年9月	前年同期比	前半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	17,232	19,023	18,662	+8.3	△1.9
回路検査用コネクタ	4,456	5,047	4,342	△2.6	△14.0
無線通信機器	3,076	3,081	3,640	+18.3	+18.1
合計	24,765	27,153	26,645	+7.6	△1.9

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金増加40億4千1百万円、たな卸資産増加5億8千9百万円、有形固定資産増加10億6千7百万円などにより、426億2千2百万円(前連結会計年度末比55億9千2百万円の増加)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加7億9千5百万円、設備投資資金及び運転資金への充当を主な目的とした短期借入金増加13億5千4百万円及び長期借入金増加18億円などにより、183億7千3百万円(前連結会計年度末比46億2千7百万円の増加)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益12億8千7百万円の計上、その他有価証券評価差額金減少6千6百万円、配当金の支払2億8千3百万円などにより、242億4千9百万円(前連結会計年度末比9億6千4百万円の増加)となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は56.9%(前連結会計年度末比△6.0ポイント)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想(2018年8月9日公表)から変更はありません。

2018年8月9日公表の前回発表予想時に比べ、米国の追加関税が利益押下げ要因となりますが、一方で、車載通信機器セグメントにおける中国工場からベトナム工場への生産移管品目拡大・移管加速による利益率引上げ、無線通信機器セグメントにおける利益率向上などにより同水準の増益が見込まれることから、通期業績予想を据え置くことといたします。

なお、期末配当予想につきましては、中間配当と併せて増額修正いたします。詳細は、本日(2018年11月7日)公表の「2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、剰余金の配当(中間配当)の決定並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,596,903	8,638,480
受取手形及び売掛金	11,485,490	11,276,085
商品及び製品	4,076,180	4,395,697
仕掛品	296,374	337,524
原材料及び貯蔵品	2,961,544	3,190,150
その他	996,277	1,194,290
貸倒引当金	△12,468	△13,753
流動資産合計	24,400,302	29,018,475
固定資産		
有形固定資産	8,976,952	10,044,347
無形固定資産		
その他	573,852	627,685
無形固定資産合計	573,852	627,685
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	131,292	146,917
その他	2,947,616	2,785,443
投資その他の資産合計	3,078,909	2,932,361
固定資産合計	12,629,714	13,604,393
資産合計	37,030,017	42,622,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,765,479	6,560,858
短期借入金	2,239,539	3,594,055
1年内返済予定の長期借入金	1,600,000	1,600,000
未払法人税等	269,468	290,936
賞与引当金	500,489	652,063
その他	2,659,228	3,156,086
流動負債合計	13,034,205	15,854,001
固定負債		
長期借入金	—	1,800,000
退職給付に係る負債	159,683	165,013
その他	551,975	554,797
固定負債合計	711,659	2,519,811
負債合計	13,745,864	18,373,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	14,519,069	15,519,332
自己株式	△729,046	△720,327
株主資本合計	21,768,221	22,777,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	636,087	569,582
為替換算調整勘定	564,846	624,538
退職給付に係る調整累計額	306,716	268,021
その他の包括利益累計額合計	1,507,651	1,462,142
新株予約権	8,280	7,688
非支配株主持分	—	2,022
純資産合計	23,284,152	24,249,056
負債純資産合計	37,030,017	42,622,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	24,765,944	26,645,144
売上原価	19,949,563	21,793,660
売上総利益	4,816,381	4,851,483
販売費及び一般管理費	3,499,404	3,526,711
営業利益	1,316,976	1,324,772
営業外収益		
受取利息	9,320	8,264
受取配当金	14,606	17,305
為替差益	5,632	409,951
その他	104,533	42,490
営業外収益合計	134,093	478,012
営業外費用		
支払利息	37,587	44,674
その他	18,185	15,437
営業外費用合計	55,772	60,112
経常利益	1,395,297	1,742,672
特別利益		
固定資産売却益	10,284	580
投資有価証券売却益	258	—
特別利益合計	10,543	580
特別損失		
固定資産売却損	911	—
固定資産除却損	40,955	9,821
特別損失合計	41,867	9,821
税金等調整前四半期純利益	1,363,973	1,733,431
法人税、住民税及び事業税	289,506	307,573
法人税等調整額	3,067	136,424
法人税等合計	292,574	443,998
四半期純利益	1,071,399	1,289,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,963
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,071,399	1,287,469

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	1,071,399	1,289,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	382,641	△66,505
為替換算調整勘定	281,085	59,750
退職給付に係る調整額	△8,959	△38,694
その他の包括利益合計	654,767	△45,449
四半期包括利益	1,726,166	1,243,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,726,166	1,241,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,022

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,363,973	1,733,431
減価償却費	909,629	982,813
賞与引当金の増減額(△は減少)	147,615	151,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,687	525
退職給付に係る資産及び負債の増減額	56	△66,322
受取利息及び受取配当金	△23,927	△25,570
支払利息	37,587	44,674
為替差損益(△は益)	△46,649	△163,697
固定資産売却損益(△は益)	△9,373	△580
固定資産除却損	40,955	9,821
投資有価証券売却損益(△は益)	△258	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,109,384	534,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,136,909	△423,060
仕入債務の増減額(△は減少)	1,319,940	423,840
その他	△300,791	30,058
小計	1,190,777	3,231,253
利息及び配当金の受取額	23,927	25,570
利息の支払額	△19,918	△15,018
法人税等の支払額	△211,897	△285,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	982,888	2,956,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△977,122	△1,654,978
有形固定資産の売却による収入	13,191	16,758
投資有価証券の売却による収入	364	—
無形固定資産の取得による支出	△111,296	△113,500
その他	52,211	△794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,022,651	△1,752,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,800,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,200,000
リース債務の返済による支出	△107,398	△105,494
配当金の支払額	△240,179	△281,938
ストックオプションの行使による収入	37,233	4,237
自己株式申込証拠金による収入額	1,977	—
自己株式の取得による支出	△276	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308,643	2,616,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	61,008	220,975
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△287,398	4,041,577
現金及び現金同等物の期首残高	5,818,150	4,596,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,530,752	8,638,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,232,838	4,456,402	3,076,703	24,765,944	—	24,765,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	88,167	—	88,167	△88,167	—
計	17,232,838	4,544,569	3,076,703	24,854,111	△88,167	24,765,944
セグメント利益又は損失(△)	△76,324	822,349	552,634	1,298,658	18,318	1,316,976

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)のその他18,318千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,662,203	4,342,155	3,640,785	26,645,144	—	26,645,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	58,485	—	58,485	△58,485	—
計	18,662,203	4,400,640	3,640,785	26,703,629	△58,485	26,645,144
セグメント利益	261,544	282,931	780,117	1,324,593	179	1,324,772

(注) 1. セグメント利益のその他179千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。